

「萩の竹ブランド化推進」のための 企画立案と展覧会・ショー等の実施

井生文隆・水谷由美子

生活科学部環境デザイン学科

1. はじめに

この研究の発端とは、「萩の竹ブランド化推進協議会」より受託研究として竹をテーマに、平成14年から取り組み現在に至っている。

井生は自然との暮らしの中に培われ、人と物と自然の関わりを調和し融合させ育んできたフィンランドのデザイナー達に呼びかけ、平成15年「竹のデザイン・フィンランド+日本展」(萩市)を実施した。この展覧会を発展させて竹+萩+フィンランドというユニークな提案で商品開発を行う事業計画が、中小企業庁JAPANブランド育成支援事業に全国1位で採用などの成果を生み出した。平成16年「竹 MEETS フィンランドデザイン展」(萩市・東京/竹が創る21世紀イベント開催事業補助金)、平成17年「Inspired by Bamboo展」(フィンランド/ジェトロJapanブランド海外販路開拓支援事業、平成18年個展「bambooster展」(萩市/中小企業庁・空き店舗対策事業)を開催する。各展覧会において企画または協力、作品出展など、竹と地域活性化を推進する。

特に水谷研究室企画は上記協議会に取上げられ、中小企業庁JAPANブランド育成支援事業採択に多に貢献した。また、東レ株式会社と提携してエコロジー繊維の最先端である竹繊維「爽竹」を用いた商品開発をプロデュースし、萩と東京にて展覧会を実施した。この展覧会を通じて、萩の竹および日本のエコロジー繊維を山口と結びつけて、フィンランドにおいて普及させるきっかけを作った。

上記協議会は数年に渡る共同研究開発を経て、平成18年に新会社TAKE Create Hagi株式会社を設立し、平成19年3月には工場を稼働し、2007年秋フィンランドを初めとしてヨーロッパで販売している。

以上のように筆者たちの研究は、地域資源を生かすことで、萩の竹ブランド化推進協議会の活動を国際的規模に拡大するとともに、新しい竹文化の創造と地場産業の活性化に大きく寄与した。このことが桜園地域貢献賞を受賞に関して評価された点である。

2. 「竹の活用」プロジェクトへの展開

以下には上記のような研究開発に至経緯を改めて述べる。

自然界では竹林が里山を侵食し、更に森林の環境へ悪影響を及ぼしている。こうした状況から特に、山口県を視野に入れて、2001年山口県立大学地域共同研究センターと山口竹ネットワーク事業会で共同研究を行う。2002年10月、萩商工会議所が有限責任中間法人萩の竹ブランド化推進協議会を組織化し、受託研究として依頼を受け、井生が竹のデザインによる地域への貢献を目的とした活動を始める。

(1) 竹のデザイン展：2003年3月

アトリエKei(山口県小郡市)での井生と1人のデザイナーによる竹紙の照明作品展を企画し出展する。

(2) 竹のデザイン・フィンランド+日本展：2003年7月

萩CNWギャラリー(山口県萩市)、フィンランドデザイナーを含めたグループ展、萩の竹ブランド化推進協議会など主催、フィンランド大使館、日本デザインソサエティ、(社)日本インダストリアルデザイナー協会、(社)日本インテリアデザイナー協会など後援のデザイン展を企画。竹紙と竹布による照明作品を出展。案内状等のグラフィックデザインも担当する。

(3) 竹のデザイン・フィンランド+日本展：2003年10月

萩CNWギャラリー(山口県萩市)、7月と同様の展覧会を企画、照明1点、家具2点を新作出展。案内状等のグラフィックデザインも担当。ハンヌ・カホネン氏によるセミナーを展覧会中に企画実施。フィンランド公立ヘイノラ工芸大学、山口県立大学、京都嵯峨芸術大学学生作品による交流展も企画併催する。

(4) Bamboo Design in Fiskars 展：2004年1月

クパリパヤ・ギャラリー(フィンランド・フィスカス)

でのグループ展を企画。照明等の新作2点出展。10月と同様の学生作品による交流展も企画併催する。

(5) 竹のデザイン・フィンランド+日本展：2004年2月

キートス・ギャラリー（京都市）でのグループ展を企画、ディレクション。テーブルウェアの新作5点出展。案内状等のグラフィックデザインも担当する。

(6) 竹 MEETS フィンランドデザイン展：2004年11月

萩市民ホール（山口県萩市）での、萩商工会議所主催、フィンランド大使館後援のグループ展。竹を素材としたフィンランドと日本のデザイナーによる作品を展示。フィンランド国立ヘルシンキ芸術デザイン大学、山口県立大学、京都嵯峨芸術大学の学生作品による交流展を企画し併催。竹が創る21世紀イベント開催事業補助金、萩市からの補助（自治総合センター・山口県・萩市）、中小企業庁JAPANブランド育成支援事業認定。竹による照明作品を出展。萩展終了後、フィンランドデザイナー作品のみで、新宿パークタワー1F、アトリウム（東京都）で開催。一部のフィンランドデザイナーのディレクションを行う。フィンランド大使館、(社)日本インダストリアルデザイナー協会、(社)日本インテリアデザイナー協会後援等。

(7) 萩開府400年記念「竹が創る21世紀」:2004年11月（水谷担当）

竹 MEETS フィンランドデザイン展とそれを発展させるファッションとプロダクトの商品開発計画の基礎提案を4月に実施する。それにより、萩の竹ブランド化推進委員会が、中小企業庁JAPANブランド育成支援事業に採択される。

11月に萩開府400年記念と関わらせた「竹が創る21世紀」を実施する。

ファッションショー「竹を着る - 日本&フィンランドの風」において、企画・構成・クリエイティブディレクターを務め、フィンランドデザイナー、ニイドメ・ナオト氏デザイン作品のプロデュースを行う。プロダクトに地元企業であるブルーウエイの参画を得る。

その他のステージイベントである竹の音楽劇「七色の竹の物語」のプロデュースと衣装デザインをして、萩市立白水小学校とのコラボレーションを果たす。また、リル・レイ・ダンススタジオとの共同制作として、ダンス「な・よ・た・け」のプロデュースと衣装を担当する。

主催は（財）自治総合センター・竹が創る21世紀開催実行委員会である。

特に衣装作品「竹の風」は2005年11月にも、姉妹校提携をしているナバラ州立大学主催のファッションショー「Yamaguchi meets Navarra 2005」（ガヤレ劇場・パンプローナ市）にて紹介し、山口の地域の文化資源を生かしたデザインとして紹介し、反響を呼んだ。

(8) Inspired Bamboo展：2005年8月

デザイン・フォーラム・フィンランド（フィンランドヘルシンキ市）での、竹を素材とした製品のデザイン・グループ展。萩商工会議所主催。に家具2点を招待出品。ジェットロJapanブランド海外販路開拓支援事業。ソファー・テーブルと可変収納シェルフを出展。

(9) bambooster展：2006年2月

ギャラリー TAZZ（山口県萩市）での個展。主催：（有）じーるファクトリー萩、後援：萩市・萩商工会議所など。竹製家具新作と過去の作品を出展。空き店舗対策事業（テナントミックス・中小企業庁）

3. TAKE Create Hagi

「萩の竹ブランド化推進協議会」は次の会社を設立し、現在トム・ディクソンという著名なデザイナーによりプロデュースされた、フィンランドのアルテック社の竹製家具2種類を生産しており、2007年秋フィンランドを初めとしてヨーロッパ諸国で販売されている。また、2008年度に向けて新製品が3種類生産をスタートさせている。将来は自社オリジナル製品の展開も計画している。

会社名：TAKE Create Hagi（タケクリエイトハギ）株式会社

設立年月日：平成18年3月3日

メンバー数：現在は出資者のみで14人（内事業従事者1名）

所在地：萩市江向451番地（萩HCN内）

資本金：1500万円

工場

建設開始：平成18年8月中旬 稼働開始：平成19年3月

場所：萩市大字福井下（旧福栄村）

メンバー数：設立当初25名程度を予定

規模：敷地面積＝約3000坪、工場面積＝約750坪（事務所等全て含む）

設備：原竹から製品まで機械設備にて加工するため、全工程機械化

4. まとめ

今後の地球環境時代におけるデザインの役割のスタンスを広げ、深め、新しい時代のデザインを創造し、作品を通じて広く提言・発信する活動に努め、研究成果を発展させたいと願っている。萩の竹と環境をテーマとした企画立案と展覧会・ショー等の実施により、萩における竹のブランド化の推進や地域の発展への一翼を担えたと考える。そして、竹に関する多くの活動の集大成として、萩商工会議所は、新しく会社を起業し、今後地場産業の発展への基盤を構築しようとしており、社会の様々なニーズに対応した製品を山口から世界に向けて発信することで、地域の活性化が実を結んで行くことが期待できる。そういう意味で、上記研究は環境問題と地域への寄与に一翼が担えたとと言える。

また、一連のプロジェクトに関連して、水谷由美子教授と共に、2002年フィンランド公立ヘイノラ工芸大学、2003年フィンランド国立ヘルシンキ芸術デザイン大学大学院、2006年フィンランド国立ヘルシンキ工科大学大学院、2007年フィンランド国立ラップランド大学大学院に正規留学生を輩出している。そして2005年には、当大学院生を指導することにより、山口日本フィンランド協会を設立し、フィンランド大使館から高い評価を得るなど、副次的にも教育や大学などへ大きく貢献することができた。

(全体文責：井生、(7) 水谷分担)



<写真>

上段 竹合板家具 "minun" (2005年)

design : 井生文隆

下段 竹素材によるファッション

produce : 水谷由美子

design : Naoto Niidome